

令和2年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

麻生 隆 議員

◇教育行政に関して

(1) G I G Aスクール構想について、本県の目指す考え方はどのようなものか伺いたい。

(教育長答弁)

G I G Aスクール構想により、教育現場における I C T環境の整備が飛躍的に進めば、児童生徒の学び方には大きな広がり生まれてまいります。全ての子どもたちの I C Tを活用した学びを保障し、個々の興味・関心や学習進度に応じた学びを具現化するものとなります。また、非常時における学習支援にも有効であると考えております。

県教育委員会では、これまでに本県の教育現場で蓄積された教育実践と I C T教育とを融合させながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、学習活動が一層、充実することを目指してまいります。

(2) I C T教育を充実させるために、教職員の意識改革をどのように行うか伺いたい。

(教育長答弁)

I C T教育の充実には、教職員の意識改革が不可欠であると考えています。そのための県教育委員会の役割は、I C T教育に対する教職員の抵抗感を軽減させるとともに、可能性や必要性を実感させることだと考えます。

県教育委員会では、今年度から、教職員を対象とした研修会を計画的に開催することとしております。先進的な取組により他の模範となる学校の実践を紹介するとともに、教職員の I C T活用力に応じた研修会やオンライン研修会などの工夫により、全ての教職員が I C T教育に対して、積極的に取り組もうとする学校の風土づくりを目指してまいりたいと考えております。